「地域×デジタル」連携協議会による地域課題解決（全体像）

～地域課題解決に向けた連携推進の枠組みづくり～

参　考

○ 概要

人口減少・少子高齢化等に起因する地域課題について、市町村等、地域がデジタル技術を活用し、主体となって解決を図る取組みについて、「地域課題解決に向けた連携推進の枠組み(連携協議会)の構築」や「課題解決策を有する企業等とのマッチング」により支援。

○ 事業のスキーム

地域課題の公募（県→市町村）

地域課題の整理（県）

＜タイプ１＞
広域的な課題

＜タイプ１＞
地域課題の解決に向けた枠組みの構築（下呂市、揖斐川町）により、課題を解決

・広域エリア（圏域単位や複数市町村）を対象とした、県・市町村、企業等の関係者による「地域課題の解決に向けた連携推進」の枠組み（連携協議会を設置し、課題解決に向けたプロジェクトを策定。）
・豊富な知見・経験を持つコーディネーターを配置。

【枠組み】

【下呂地域医療×デジタル連携協議会】
・構成団体：下呂市、(地独)岐阜県立下呂温泉病院、下呂市立金山病院、下呂市立小坂診療所、下呂市医師会、県(デジタル推進局)
・コーディネーター：中村秀樹((株)十六総合研究所常務取締役)
・オブザーバー：高山市、県(医療整備課)

【揖斐川地域移動支援×デジタル連携協議会】
・構成団体：揖斐川町、揖斐タクシー㈱、樽見鉄道㈱、養老鉄道㈱、県(デジタル推進局)
・コーディネーター：中村紘子((株)OKB総研主任研究員)
・オブザーバー：大野町、県(公共交通課)

＜事業の流れ＞

＜1年目＞
課題の洗い出し、対応策の検討
・オンライン会議の開催（課題の共有、テーマ設定、対応策の検討）
・専門家を招聘したオンライン講演会、勉強会の開催

＜２年目～＞
課題解決プロジェクトの展開
・実施主体の立ち上げ、プロジェクト（事業）の展開
・連携協議会の開催（次年度の実施計画検討）　等

＜タイプ２＞
その他

＜タイプ２＞
解決策を有する企業等とのマッチングにより課題を解決

・応募された地域課題について、デジタルを活用して解決する技術を企業・大学等から公募。
・地域課題の応募市町村と、解決策を提案した企業・大学等とのマッチングを実施。

【地域課題(例)】
・アフターコロナに向けた観光･商業戦略(高山市)
・独居高齢者、高齢者世帯の孤立死防止(多治見市)
・新しい地域コミュニティの仕組みづくり(可児市)　など